

平成30年度 第2回 恵那南高等学校魅力化プロジェクト推進協議会

日 時	平成31年2月14日(木) 10:00~12:00
場 所	恵那南高等学校 ガイダンスルーム
出席者 (敬称略、 委員名は50 音順)	<p>(委員)</p> <p>朝倉 和仁 岐阜県恵那県事務所長 伊藤 昌輝 恵那南高等学校PTA会長 大嶋 英哉 恵那市明智振興事務所長 大畑 雅幸 恵那市教育長 小石川浩永 (株)恵那川上屋執行委員 鈴木 隆一 NPO法人「いわむら一斎塾」理事長 西尾 英憲 恵那市立明智中学校長 長谷川咲希 恵那市振興防災課主事 細江 幸次 恵那市立明智小学校教頭 水草 美奈 NPO法人「ミニ汽笛明知線」理事 水野 正敏 岐阜県議会議員 渡辺 康正 明知鉄道(株)代表取締役専務 度会 敏彦 恵那南高等学校前同窓会長</p> <p>(高校側)</p> <p>林 尚志 校長 安藤 和昭 教頭 柴 成吉 教務主任 小島 光示 総合学科主任</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>高橋 宗彦 教育総務課教育主管</p>
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> 産社・総合学習発表会は素晴らしかった。生徒一人一人がしっかりした考えを持って学習に取り組んでいることが分かるが、これは教員の皆さんの努力のおかげだ。 浪漫学園は年長者と年少者の交流が少ない時代の中で有効な取組だ。年少者に教えるためには自分が勉強しなければならず、年長者にとってよい経験になる。 合同あいさつ運動はする側はよいが、受ける側の指導や、日頃に継続する体制があるとさらによい。 どういう形で生徒を集めるかが課題。明知鉄道は小中のスクールバスも担当しているので、バス路線については協力できるよう検討したい。 恵那市教育委員会としても、この3年間できるだけの協力をした。その成果もあってか、恵那南の評判は上がってきている。明智中学校からの出願も増える予定だ。 子どもの数が極端に減っており、今年度の明智町の出生数が9名という現状では明智町だけで高校は支えられない。外から生徒を集める必要があり、浪漫学園も対象地域を広げた方がよい。 通学手段については何とかしたいが、明知鉄道の半額補助に対しても厳しい批判がある。恵那行きも補助すると数千万円かかり難しい。明知鉄道バスを運行する方法もあるが、市民の理解をいかに得るか、法的問題など課題もある。地域バスを活用し、一部自己負担する方法なら恵那市内については可能かもしれない。

- ・他の高校にない教育内容、資格が取れるなど、県外からでも来たいと思えるような特色があるとよい。3年前に調べたときに人気があったのはパティシエだったが、総合学科ではどこまでカリキュラムで対応できるのか？
 - 外部講師等を活用してはどうか？
 - 総合学科は入学してから進路を考える学校のため、システム上、専門学科と比べると取れる資格の数は少なくなるが、焦点化は可能。福祉は坂下がある。調理師は施設、免許の関係などハードルが高い。

- ・卒を外さないといけない。岐阜県は堅いのではないかな。
- ・この地域を作る子どもを育てるまちづくりコースなどはどうか？
- ・発表会を見て、指導者次第で生徒は育てられると感じた。資格なども個別の指導で取らせることができるのではないかな。福祉の資格など取らせてはどうか。
- ・子どもの絶対的な数が少ないので、地域全体で教育のレベルを上げ、地域の魅力を高めることが大切だ。
- ・就業体験など何年もやっている取組も、生徒にとっては初めての新鮮な体験なので教員が慣れすぎてしまわないことが大切だ。
- ・6次産業など、4年目以降はどうなるのか？
 - 魅力化の協議会は今年度で終わるが、今後は学校運営協議会が引き継ぐ。商品開発中心で6次産業学習も継承し、生徒の力で英語の観光パンフレット作りをするなど、地元に着した企画を計画している。

- ・ビジネスと観光系列は6次産業をやるが、他の系列はどうするのか？
 - ライフサポート系列が読み聞かせをやるなど、それぞれの系列の特色に合わせて取り組んでいく。

- ・恵那南カフェに浪漫亭カフェで協力したが、大人の力を借りないといけない場所のため、大人の方が大変だったので、場所は他の場所でもよいのではないかな。また、保護者以外のお客さんが多く、恵那南が地域に愛されていることは分かったが、もう少し保護者の参加が多くてよかった。
- ・中学生の保護者として恵那南がどういう学校か説明しにくいので中学生に伝えるようにもっと発信して欲しい。
- ・中学生だと塾や習い事で何度も送り迎えをしないとけないが、高校は学校で完結できるとありがたい。
- ・総合学科で幅広く学ぶのもよいが、英語が話せるようになるなど、他にはない面白みのあるものに特化して魅力を高めて欲しい。

- ・恵那南の生徒にはいつも感心する。あいさつもしっかりできるし、発表会でも自分の意志をしっかり伝えられ、先生方の熱意、指導のおかげだと思う。特に1年生の生徒が資料も見ずに堂々と発表する姿には驚いた。また、3年生の生徒が恵那市に貢献したいという強い意志を持って市役所に就職してくれることが分かり、非常にありがたく、素晴らしい教育をしていると感じた。
- ・振興事務所としてはスタディーサポートの事業に文化を勉強する講座を組み合わせることでまちづくりの補助を使えないか検討中。

- ・ 恵那南サポーター募集の広報は恵南地区全戸に2度配布して協力したが、その成果もあり、人が集まっている。
- ・ 恵那川上屋とコラボして作ったマカロンは、今まで食べた栗のスイーツの中で最もおいしかった。生徒や恵那川上屋さんの力のおかげだと思う。
- ・ いろいろなことを少しずつ学べるのは魅力だと思う。製菓なども、高校生が興味を持ちやすいものだが、本格的ではなく少しだけ学べるというのがよいと思う。
- ・ 通学時間がかかるのは高校生にとって負担が大きい。バス路線ができるとうよい。
- ・ 自学自習スペースも高校生にとってとてもよいと思う。
- ・ 話を聞けば聞くほど難しいと感じるが、出願予定生徒が増えたのは今までの取組の成果だと思う。
- ・ 坂下高校は福祉の免許が取れるのに人気がない。ダンス部を作ったらどうかといった意見もあった。
- ・ 総合学科はどこを目指しているのかわかりにくく悩ましい。
- ・ 浪漫学園に高校生は真面目に、真摯に取り組んでくれており、素朴で控えめだが、一生懸命やってくれるが、一人一人の強さがあるとさらによい。あいさつ運動で、仲間と一緒にのときはあいさつができて、個人ではあいさつできない子もいる。小学生も成長させたいので一緒に高め合いたい。
- ・ 明智中学校から例年より多くの生徒が出願する予定。競争して入る学校になり、意識が変わるのではないか。高校生と接する機会が増え、先輩から話を聞いて中身が分かるようになり、目標が実現しやすい学校だと分かった。発表会を見てあの先輩達と学びたいと思ってくれている。
- ・ 恵那川上屋としては6次産業の取組は3年間、毎年ブラッシュアップするよう意欲的に取り組んできた。
- ・ 英語が話せるようになる学校を目指したらという話があったが、会社にいると英語より日本語能力が大事だと感じる。発表会も6次産業の表彰式も生徒の発表は素晴らしかったので、言葉の力を付ける教育を目指して欲しい。
- ・ G1の学校の中で、最も早く6次産業学習などに意欲的に取り組んできた成果が今現れている。6次産業だけでなく、学校説明会等でのアピールなどの努力があつてその成果が現れてきたところなのに定員を減らされた。今までの努力の評価はどうなったのかと言いたい。
- ・ 自分の子どもは全員恵那南高校に進学したが、本当によい学校で魅力もたくさんある。総合実践の授業を見学したが、自分も受けたいと思ったほどだった。明智町内だが、学校から10km離れており送り迎えをした。
- ・ 自分自身は恵那高校に進学し下宿をしたが、恵那南高校にも下宿できる所があるとよいかもしれない。
- ・ かなり早い時期から危機感をもってこの学校のために取り組んできた甲斐があり、

	<p>魅力ある学校になり、希望者も増えた。県に報告してマスコミを活用した点もよかった。</p> <ul style="list-style-type: none">• この学校が街中にあればもっと生徒も集まっていたが、岐阜県で最も小さい学校になってしまった。岐阜県で5000人高校生が減り、125クラス減る現実がある中、この地区に永久に高校を残すべきか考えないといけない時代もいずれ来る。生き残るためには特化するのも一つの方法で、公私の枠も取り払い、全国から生徒を集められるとよいが高い壁もある。• 岐阜県総合戦略では人づくり、ふるさと教育が重視されており、卒業生の6割に岐阜県に戻って来てもらうことを目指しているが、恵那南高校は、8割が地元就職している。この学校をなくすことは県の政策に反することだと強く訴えたい。
--	---